

日本機械学会バイオロボティクス研究会特別講演会  
「バイオメカニクス・福祉工学より見たバイオロボティクス」

開催日 2008年12月12日(金)

会場 信州大学繊維学部総合研究棟7階ミーティングルーム1

プログラム

「生物に学ぶモノづくり」 森川 裕久 氏

(信州大学繊維学部応用生物学系 バイオエンジニアリング課程 教授)

「福祉分野とロボット関連技術」 小野 栄一 氏

(厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 企画課 自立支援振興室  
福祉工学専門官)

学生を含め55名の方に参加いただき、盛況な講演会となりました。お二人のご講演の内容は次のようでした。

森川裕久教授(信州大学)

生物のはたらきやしぐみを深く解明し、その結果得られた知見を利用してモノづくりをする方法について、イルカやカタツムリの例を挙げて講演されました。

小野栄一氏(厚生労働省)

福祉工学分野で開発されたシステムが一般に役立っている例を自動ドアやウォシュレットの例を挙げて説明されました。また、福祉工学において使用者と研究者の間の情報交換の重要性を強調されました。

